

茨城シニアクラブ第16回総会 参院選の所属政党をめぐり白熱した議論

副会長 井上純一

11月7、8日の2日間にわたり福島県信夫温泉『のんびり館』でJAM茨城シニアクラブ第16回総会が開催された。会員23名で東京製綱10、ビクター8、アイメタルテクノロジー2、日本ファイリング2、イケガイユニオン1が参加した。来賓として、JAMシニアクラブ豊泉副会長、JAM北関東茨城県連山本副会長の計25名が参加された。

信夫温泉『のんびり館』に到着後直ちに総会が行われ、総会に上程された2017年度活動報告、決算・監査報告が承認され、引き続き2018年度活動方針、予算、等議案は満場一致で拍手で承認、可決されたが、会員から衆院選での支持政党に対するJAMの見解が明確でなく、組織が混乱したこと、2年後の参院選における田中ひさや候補予定者の所属政党を巡って白熱した議論が交わされ総会は終了した。

総会后入浴、そして第2部の懇親会は、斉藤事務局長の司会で始まり、西副会長の音頭で乾杯。1年振りの総会での再会を喜び合い話も弾みそれぞれカラオケの自慢の歌を披露し合いながら、楽しい一時を過ごした。

翌日は信夫温泉ひさや不動橋にて一時バスを降り、紅葉の終わった橋から会津市内と信夫山を眺め、更にバスを走らせて硫黄の匂いが立ち込める浄土平から吾妻小富士を眺めて観光センターでの買い物の後、一路五色沼へ。紅葉を見物し昼食は猪苗代で名物のわっぱ飯を食べてお腹が膨らんだ所で一路茨城へとバスに揺られながら無事帰宅した。

